

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
満期保有目的の債券・・・取得価額と債券金額との差額については償却原価法を採用している。
- (2) 固定資産の減価償却の方法
定額法によっている。
- (3) 引当金の計上基準
退職給付引当金・・・常勤役員の退職給付に備えるため、「役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程」に基づく金額を計上している。
- (4) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産の増減額及びその残高

基本財産の増減額及びその残高は次のとおりである。

(単位：円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
基本財産	投資有価証券				
	第27回共同発行地方債(10年)常陽銀行	185,781,420		185,781,420	0
	平成17年度第7回大阪市公募債券(10年)野村証券	10,985,553		10,985,553	0
	第330回利付国庫債券(2年)常陽銀行	10,004,829		10,004,829	0
	第312回利付国庫債券(10年)常陽銀行	110,369,600		70,400	110,299,200
	兵庫県第24回公募公債(20年)野村証券	99,890,458	5,500		99,895,958
	第152回日本高速道路保有・債務返済機構債券(30年)野村証券		100,116,649		100,116,649
	第339回利付国債(10年)SMBC日興証券		4,987,513		4,987,513
					0
	定期預金				0
	定期預金(2年)常陽銀行	742,516		742,516	0
	定期預金(2年)常陽銀行		1,542,516		1,542,516
	仕組預金(20年)三井住友信託銀行		101,000,000		101,000,000
	合計	417,774,376	207,652,178	207,584,718	417,841,836

3. 基本財産の財源等の内訳

基本財産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの 充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
基本財産				
投資有価証券	315,299,320		(315,299,320)	
預金	102,542,516		(102,542,516)	
合計	417,841,836	0	(417,841,836)	0

4. 固定資産の取得価額、減価償却累積額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累積額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	取得価額	減価償却累積額	当期末残高
什器備品	492,240	386,664	105,576
合計	492,240	386,664	105,576

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
有価証券			
第312回利付国庫債券(10年)常陽銀行	110,299,200	117,282,000	6,982,800
兵庫県第24回公募公債(20年)野村証券	99,895,958	111,869,800	11,973,842
第152回日本高速道路保有・債務返済機構債券(30年) 野村証券	100,116,649	119,837,300	19,720,651
第339回利付国債(10年)SMBC日興証券	4,987,513	5,227,500	239,987
定期預金			
仕組預金(20年)三井住友信託銀行	101,000,000	101,000,000	0
定期預金(2年)常陽銀行	1,542,516	1,542,516	0
合計	417,841,836	456,759,116	38,917,280